

『三水連だより』原稿募集（お願い）

先般行なわれた『三水連だより』（来年1月20日（水）発行予定のNo. 211）編集会議で裏面の特集が決まりました。

『お年玉付き新春歌会はじめ』で、お題は『希』（キ、ケ、まれ、ねが・う、こいねが・う）です。

各クラブより短歌を応募していただきます。入選が5名、佳作（紙面に載る）は25名程度になります。

締め切りは12月20日（日）

※注 応募は原則として実名でしてください。

応募された中から選考委員会（会長、副会長、理事長＋三水連だよりチームメンバー）による厳正な審査によって、好評だった作品を『三水連だより』に掲載し、入選作にはお年玉（賞品）を授与することを予定しています。

運悪く上位入賞できなかった作品も紙面で発表させていただきます。

字数は五七五七七となります。

◆ つまり、平仮名で書くと

○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○○となるわけですが、前回の題は『笑』（ショウ、わら・う、わら・い、え・む、えみ）で、下記の6首が入選作でした。

- ◇ 世界一 可憐で強く 咲く花は 心なごます 撫子の笑み
GS部 中村 厚子
- ◇ うすべにの 十月桜 咲く駅の 改札口に 日差し微笑む
GS部 中川 陽子
- ◇ 年重ね 泳ぎ仲間と 語り合う 番茶は出がらし 笑いは続く
みずとり 松井 和子
- ◇ 憂きことや 悲しきことの 多き世に 君の笑顔は 明日への希望
GS部 山口 益子
- ◇ はつはるの 笑顔はじける 水しぶき 福つれてくる 水泳仲間
楽水会 宍戸 厚子
- ◇ 他人の児の 天使の笑ひ 賜りて 新たな年の み空を仰ぐ
みずとり 宮下 満子

1月新春号です。季節感も重要なポイントになります。たくさんのご応募を期待しています。※お年玉に関心の無い方は『お題』に関係なくご応募下さい。

以上

201110

『三水連だより』チーム ☆菊地輝男☆
連絡先 ; kikuteru@suiren.mitaka.tokyo.jp

三水連だよりチーム

例えば、お題を別にすれば『サラダ記念日』の俵 万智さんのように

「この味が いいね」と君が 言ったから 七月六日は サラダ記念日

愛人で いいのと歌う 歌手がいて 言ってくれるじゃ ないのと思う

たっぷりと 君に抱かれて いるような グリンのセーター 着て冬になる

潮風に 君のにおいが ふいに舞う 抱き寄せられて 貝殻になる

「嫁さんになれよ」だなんて カンチューハイ 二本で言って しまっているの

手紙には 愛あふれたり その愛は 消印の日の そのときの愛

万智ちゃんが ほしいと言われ 心だけ ついていきたい 花いちもんめ

我という 三百六十 五面体 ぶんぶん分裂 して飛んでゆけ

今日までに 私がついた 嘘なんて どうでもいいよと いうような海

◆ 前々回のお題は『飛』で下記の6首が入選されました。

◆ 孫と折る 紙飛行機の 指先に 込める願いは 輝く未来
工藤 宏子

◆ 先生の 教え上手に 習いべた 飛躍する気の 五体動かず
種市 与作

◆ 初春や 飛沫を 朝日に輝かせ 水切る子らに 幸よ多かれ
釜池 宏

◆ 南へと 飛び立つ鳥の その先に まだ見ぬ国の 平和を願う
小林菜々子

◆ 春の夢 しぶきもあげず 軽やかに 飛んでもぐって 私はイルカ
山口 益子

◆ 真よ中に 空へ飛び立つ 白い鳥 月のひかりを あびてかがやく
師岡 修治